

令和5年度シラバス（芸術）

44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
芸術（音楽Ⅰ）	2単位	1学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	Tutti+(教育出版社)・New Music Note(教育芸術社)			

1 学習の到達目標

・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
 ・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。

2 科目の特色・指導の重点

生涯にわたって主体的に音楽を愛好していこうとする心情の育成を重視するため、以下の2点に取り組めます。
 ①生徒一人一人が個性を生かして音楽の幅広い活動を行い、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見いだすことのできる感性を高めていきます。
 ②我が国及び諸外国の様々な音楽を幅広く学習することで、音楽の文化的・歴史的背景、作曲家及び演奏者による表現の特徴、音楽の伝承方法、表現方法、様式など多様な観点から、固有の価値の習得を目指します。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・ 技能	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて、理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	・授業態度 （学習記録ファイル） ・実技発表 ・ノート提出
② 思考・ 判断・ 表現	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながら良さや美しさを感じたりしている。	・授業態度 （学習記録ファイル） ・実技発表 ・ノート提出
③ 主体的に 学習に取り 組む態度	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度 （学習記録ファイル） ・実技発表 ・ノート提出

4 学習の計画（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）

学期	学習項目	時間	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	【歌唱】 ●校歌 ●優しいあの子 ●歌声づくりエクササイズ ●アヴェ・ヴェルム・コルプス 【鑑賞】 ●バレエ音楽「ボレロ」 ●フィンランディア讃歌 ●交響組曲「シエラ」	26	・歌唱 音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。 ・鑑賞 各国の地理的背景、歴史、作曲家の生涯を踏まえて、オーケストラの様々な楽器の音色や響き、リズム、旋律が楽器の組み合わせによって展開されながらもたやす表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを自ら味わって	○	○	○	・授業態度(学習記録ファイル) ・実技発表 ・ノート提出

	<p>ザード」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交響詩「海」 <p>【器楽】ギター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音のスケッチ③ 音階 ●Start Up! Playing the Guitar ●カノンによるギター・エチュード ●ソナタK.331によるギター二重奏 		<p>聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽 <p>楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。</p>	○	○	○	
2 学 期	<p>【歌唱】</p> <p>アンサンブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Happy birthday to you ●Oh happy day ●切手のないおくりもの ●サザエさん一家 <p>【器楽】</p> <p>キーボード、ドラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●翼をください ●少年時代 ●楽典 ●音のスケッチ④和音 和声 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●24の奇想曲から第24番 ●パガニーニ二代練習曲集 ●パガニーニの主題による狂詩曲 	26	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱 <p>他者との調和を意識したり、ヴォイス・アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽 <p>各楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 <p>音楽の根本的な技術である変奏の技法に関心を持ち、主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかを理解し、他の変奏曲と比較して聴くことにより音楽表現の共通性や固有性について考える。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(学習記録ファイル) ・実技発表 ・ノート提出
3 学 期	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ベートーヴェン交響曲第9番第1楽章 ●ミュージカル、オペラ「オペラ座の怪人」「魔笛」「サウンドオブミュージック」 <p>【器楽・創作・歌唱・鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●音のスケッチ⑨コンサート企画 ●1年間のまとめ 	18	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞 <p>オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響を合せて発展してきたかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽・歌唱・創作・鑑賞 <p>1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施する。音楽Ⅰで学習した教材から選択し、クラス全体での合唱や器楽アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。また、オリエンテーション時に学習した「あなたにとって音楽とは」が、音楽Ⅰの1年間の学習を経てどのように変容したかを考える。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(学習記録ファイル) ・実技発表 ・ノート提出

計 70 時間 (50 分授業)

5 その他 (担当者からの一言・留意点など)

「選択」教科です。まず「音楽」を「好き」になりましょう。「好き」には無限の可能性が含まれています。次は「こだわり」をもって音楽に触れましょう。

音楽の仕組み、譜読みなどを理解し、自ら丁寧に練習、研究、工夫を一緒に考えましょう。一層、音楽の楽しさ、充実感、価値観が高まります。「音楽」がただの「好き」から「特別な好き」に変わっていきます。

音楽は瞬間の芸術です。音楽演奏は形として残りません。しかし感動は忘れることができないものです。自発的に、意欲的に授業に取り組んでください。それが感動を味わう一番の近道です。

令和5年度シラバス（芸術）

学番 44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
芸術（書道Ⅰ）	2単位	1学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	「書道Ⅰ」「書道Ⅰプライマリーブック」（教育図書）			

1 学習の到達目標

- ・小中学校の国語科書写を基礎とし、書道の幅広い学習活動をとおして、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。
- ・感性を高め、書写能力の向上を図り、自己を主体的に表現するための能力を伸ばす。
- ・書之美を感じ取る干渉能力を養い、書の伝統と文化についての理解を深める。

2 科目の特色・指導の重点

- ・漢字の書の学習では、古典の学習をとおして書之美とその技法を学び、創造的な表現をするための技能を身につけ表す。
- ・仮名の書の学習では、日本の伝統的な仮名の美の特質を理解し、創造的な表現をするための技能を身につけ表す。
- ・漢字仮名交じりの書の学習では、身近にある題材を用い、自らの構想に基づいて表現を工夫する。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・学習記録による学習過程 ・提出作品
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・書によさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・学習記録による学習過程 ・提出作品
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・学習記録による学習過程 ・提出作品 ・発表・発言 ・出席状況

4 学習の計画（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）

学期	学習項目	時間	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	[1]書へのいざない [2]漢字の書(楷書) 1)牛概造像記 2)孔子廟堂碑 3)九成宮醴泉銘	26	<ul style="list-style-type: none"> ・中学までの書写を振り返り、書写と書道の共通点と相違点を理解する。 ・姿勢や執筆法を理解し、基本用筆・運筆ができるようにする。 ・漢字の成立と変遷について理解する。 ・楷書古典の臨書学習により、基本的な表現技法ができるようにする。 ・楷書古典の鑑賞により、書によさや時代背景、書者について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・学習記録による学習過程 ・提出作品 ・発表・発言 ・出席状況

2 学 期	[3] 競書大会 (製作・出品) [4] 漢字の書(楷書) [5] 篆刻(篆書) [6] 漢字の書(行書) 1) 蘭亭序 2) 風信帖	26	<ul style="list-style-type: none"> 既習古典に基づき、粘り強く工夫を重ね、作品を完成させることができるようにする。 半切1/2に、粘り強く工夫を重ね、臨書作品を完成させることができるようにする。 落款の意義を知り、姓名印を刻す技法ができるようにする。 行書古典の臨書学習により、基本的な表現技法ができるようにする。 行書古典の鑑賞により、書のおよさや時代背景、書者について理解する。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子 学習記録による学習過程 提出作品 発表・発言 出席状況
3 学 期	[7] 仮名の書 1) 蓬萊切 2) 高野切 古今和歌集 [8] 漢字かな交じりの書	18	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の成立と変遷について理解する。 姿勢や執筆法を理解し、基本用筆・運筆ができるようにする。 平安時代の古筆の表現を理解する。 書表現により、自らの思いを他者に伝えることができることを理解する。 感興や意図に応じた表現を構想し、工夫することができる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子 学習記録による学習過程 提出作品 発表・発言 出席状況
適 宜	生活の中の書		<ul style="list-style-type: none"> はがきや金封などの書式について理解し、活用できるようにする。 	○	○	○	活動の様子

計 70 時間(50 分授業)

5 その他(担当者からの一言・留意点など)

「なにができるようになったか」を大切にしたいと思います。1 時間の中での進歩、単元をとおしての進歩、学期をとおしての進歩、そして1 年間をとおしての進歩が感じられる取り組みを一緒に行っていきましょう。

令和5年度シラバス（芸術）

学番 44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
芸術（美術Ⅰ）	2単位	1学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	高校生の美術（日本文教出版）			

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。心情を育てる。 ・感性を高め、創造的表現力と鑑賞能力を育てる。 ・美術の幅広い創造活動をとおして、造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ねる。
--

2 科目の特色・指導の重点

<p>（絵画）主題と対峙しながら、形や色彩の原理を把握し、自己の考えや創造を取り入れた表現を身につけさせる。</p> <p>（デザイン）造形要素の理解ならびに用と美を生かした機能表現を育成する。</p> <p>（鑑賞）美術作品の良さや美しさ、作者の表現意図の工夫を感じることができる能力を育てる。</p>
--

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・学習活動への参加状況や取り組む姿勢・態度
② 思考・ 判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し、創造的に発送し構想を練ることができる。 ・価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出
③ 主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現および鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 ・学習活動への参加状況や取り組む姿勢・態度 ・出席状況

4 学習の計画（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）

学期	学習項目	時間	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・美術を学ぶ意義 ・年間の学習の見直し ・絵画の基礎とデッサンの練習 ・身近なものを描く ・絵画（キャンバスに描く） ・教科書の作品を模写表現する。 	26	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かし表す。 ・身近なものの特徴や美しさなどを基に形や色、質感などを考え構想を練る。 ・身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す。 ・構図や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし表す。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。 	○			小作品の提出 授業の取組 作品提出 課題プリント

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・堆朱のキーホルダー制作 ・オリジナルエコバッグ制作 ・デザイン平面講成 	26	<ul style="list-style-type: none"> ・作りたいイメージを捉えデザインする。 ・表現の工夫、効果などについて考え、美意識を高める。 ・独創的なアイデアが表現できるように工夫する形や色彩、イラストを考え構想を練る。 ・自然系の単純化、色の性質、感情、意図に応じた配色の工夫をする。 	○	○	○	○	○	デザイン画 提出 作品提出
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像制作 	18	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の内面を見つめ、自分らしい印象などを基に構図や表情の効果を考える。 ・主体的に取り組もうとする姿勢がみられる。 ・構図や表情、色彩の効果、イメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。 	○	○			○	

計 70 時間 (50 分授業)

5 その他 (担当者からの一言・留意点など)

課題の提出は期限を守りましょう。